

# 宮城いきいき便り

## 宮城県福祉人材センター 福祉人材無料職業紹介所

福祉の仕事を求めるあなたと  
福祉の職場の懸け橋となります

### 問い合わせ

ご利用時間 月～金・第3土曜 9:00～17:00

休日 土(第3除く)・日曜、祝日、年末年始

〒980-0014

仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館1階

TEL022-262-9777 FAX022-261-9555



## 第19回介護支援専門員 実務研修受講試験

試験日/10月2日(日)

会場/東北学院大泉キャンパス、  
仙台保健福祉専門学校

受験料/8400円

試験案内配布・申込期間/5月30日(月)～6月30日(木)

試験案内設置場所/県庁1階総合案内、各市区町村、  
県の各保健福祉事務所・支所

### 申し込み・問い合わせ

宮城県社会福祉協議会研修課

TEL022-216-5382



にこやかに温室内を案内する辺見さん

## 豊富な植物、園芸の知識 講演や著作 今なお現役

元中学・高校教諭 辺見徳郎さん (81) Ⅱ塩釜市楓町Ⅱ

教諭として中学校で  
理科を、高校で生物、  
農業、園芸を教え、そ  
の後は仙台高等技術専  
門校造園科、文理ラン  
ドスケープ園芸専攻学  
校園芸環境学科の講師  
を務めた。

1990年から現在までの長きにわたり、宮城県環境保全アドバイザーとして出前講座を実施。日本雑草学会会員で、仙台や塩釜の野草会植物倶楽部にも所属し、講演活動や自然観察会を行うなど、精力的に活動している。

「初めはラン科の植物にはまり、今では何種類あるのか分からないほど。ちよつとした野草園みたいになってしまい、家内は草取りが大変とこぼす」と苦笑いする。

1997年には町内会結成20周年記念事業の一環で、住民の交流の輪を広げようとソフボール、中国式体操、舞踊、写真、囲碁、植物、カラオケといった十数団体の愛好会を皆で発足させた。

「地域活性化は住民が生活を楽しみ、喜び合うことであり、多くの人が趣味や生涯学習に打ち込める活動を発展させることが重要」との考えによるもの。役員らの支えもあり、住民の高齢化が進む中でも交流の輪は着実に広がり、現在は延べ200人余りの会員を数える。

「東日本海浜植物ゾーン」「大温室による亜熱帯海浜植物生態ゾーン」「イベント館と花壇散策ゾーン」の三つを整備し、貴重な植物の保護・保全はもちろん観光にも寄与する。

「癒やしの園として、多くの人のあすへの活力になるのでは」と夢を膨らませる。

「身近な所に山野草が芽生え、昆虫たちとお互いにだまし合いながら成長していく。そのような生態観察を通して、環境を守るには自然界に関心を高めることから始まることに気が付いてほしい」との思いを込めて書いた。

昨年とは体調を崩し、入院中に執筆を続けて完成させただけに「この本には特別な思いがある」と目を細める。

熱心に地域活動愛好会立ち上げる  
地域活動にも積極的だ。自宅のある塩釜市楓町の第3代町内会長として8年間務めた。囲碁は3段の腕前で週2、3回、地域の集会所で20人ほどの仲間と興じた。

「ふれあいデー」と名付けた各愛好会活動の発表の場はもちろん、市内一斉清掃では多い時に170人を超える参加があり、まさに交流の場となっている。

「活動は住民に満足感を与え、地域の連帯感を生み出している」と語る。

海浜植物の絶滅危機  
植物園設置を提言  
塩釜市を含む県内沿岸部は、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた。植物も同様で宮城を北限、南限とする植生や希少な野生海浜植物の絶滅が危惧される。

震災復興計画で、親水性に配慮した防潮堤と緑地の整備が進んでいるが、辺見さんはこれと併せて海浜植物を主としたアーム館「海辺の花植物園(仮称)」の開設を提言する。